

## 「ザカリヤの預言」(救い主降誕のできごと⑤)

ルカの福音書 1 章 67～80 節



イエスキリストの降誕に先立って生まれたバプテスマのヨハネの生涯と働きは、父ザカリヤと母エリザベツを抜きには語ることはできません。ヨハネは、祭司の子である自分がなぜヨハネで、なぜ預言者なのかを父から聞かされながら、救い主の道ぞなえをする者としての使命を育み成長したことでしょう。そして30年の時が経って彼はイスラエルの人々の前に立つのです。

神のご計画は何と大きいのでしょうか。そのご計画は私たちにも及ぶのです。

### ①約束されていた救い主が来られた

“ほむべきかな、イスラエルの神、主。主はその御民を顧みて、贖いをなし、救いの角を私たちのために、しもベダビデの家に立てられた。古くから、その聖なる預言者たちの口を通して語られたとおりに。この救いは、私たちの敵からの、私たちを憎むすべての者の手からの救いである。” 68-71

“幼子よ、あなたこそいと高き方の預言者と呼ばれる。主の御前を先立って行き、その道を備え、罪の赦しによる救いについて、神の民に、知識を与えるからである。” 76-

### ②恐れなく仕えるために

“主は私たちを敵の手から救い出し、恐れなく主に仕えるようにしてください。” 74

“私たちは私たちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛のうちにとどまる人は、神のうちにとどまり、神もその人のうちにとどまっておられます。このように愛が私たちのうちに全うされているので、私たちはさばきの日にも確信を持つことができます。…愛には恐れがありません。全き愛は恐れを締め出します。恐れには罰が伴い、恐れる者は、愛が全きものとなっていないのです。” 1ヨハ4:16-、私訳

### ③それは神の真実の愛による

“これは私たちの神の深いあわれみによる。そのあわれみにより、曙の光が、いと高き所から私たちに訪れ、暗闇と死の陰に住んでいた者たちを照らし、私たちの足を平和の道に導く。” 78-79

“主はその母親を見て深くあわれみ、「泣かなくてもよい」と言われた。そして近寄って棺に触れられると、担いでいた人たちは立ち止まった。イエスは言われた。「若者よ、あなたに言う。起きなさい。」 7:13-14

### ◎思い巡らしてみましよう

- ・ヨハネの人生には、救い主の道ぞなえをするという使命が与えられていました。ヨハネのような人は他にはいませんが、しかし私たち一人一人にも同じように人生の使命が与えられているということについて、あなたはどのように考えておられますか。